

【 6月の予定 】

- 3日(火)
11:00～ はばたき人権文化センター運営委員会
17:00～ 明倫小学校地区学習会開講式
- 4日(水)
18:00～ 和田東地区小・中学校合同学習会
開講式
- 13日(金)
17:00～ 因伯子供学園学習会開講式
- 19日(木)
10:30～ にこにこサロン(ちまきづくり)
- 28日(土)
10:00～ 子ども料理教室

今月の人権カレンダー

6月 倉吉市男女共同参画推進月間

- 4日 侵略による罪のない幼児犠牲者の国際デー
- 7日 母親大会記念日
- 22日 らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日
- 23日 沖縄慰霊の日

はばたき人権文化センターだより

はばたき

発行:はばたき人権文化センター
住所:〒682-0872
倉吉市福吉町2丁目1514-7
電話:0858-22-0232(FAX兼)
E-Mail:habataki@ncn-k.net

6月号 NO.438 (2025年6月1日発行)

町内人権学習会・同和教育町内学習会に向けた講演会(研修会)が開催されます

●明倫地区人権学習推進会議

日時 令和7年 6月 6日(金) 19:00～21:00
場所 明倫コミュニティセンター
内容 研修 講演
演題 「マジョリティの特権とマイクロアグレッション」
講師 尾崎 真理子 さん (鳥取県人権文化センター)

●社地区同和教育推進協議会

日時 令和7年 6月 11日(水) 18:30～
場所 社コミュニティセンター
内容 ミニ講演会
演題 「部落差別について」(仮)
講師 澤田 直美 さん (赤碕文化センター)

どなたでも
参加できます。
ぜひご参加
ください。

生活で困っていることはありませんか？

家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。



差別落書きや差別発言などに遭遇した場合は、倉吉市人権政策課、又は、最寄りの人権文化センターまでご相談ください。

倉吉市市民生活部人権政策課 Tel0858-22-8130
はばたき人権文化センター Tel0858-22-0232

6月は倉吉市男女共同参画推進月間です

入場無料

男女共同参画フォーラム in くらよし 2025・
令和7年度第1回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座(男女の人権)

「女性自治による視点」 ～大山自治会長として取り組んできたこと～

オンライン
講演

あなたのまちには、**女性の役員**(※公民館長や部長)がいますか？
倉吉市では、まち(自治公民館)の運営の中心になる公民館役員のうち、女性の割合はわずか14%です。男性中心で運営されるまちは、全ての人にとって暮らしやすい・住みよいまちになっているのでしょうか？女性と男性が協働し、互いの強みを活かしてまちをつくっていくために私たちはどうすればよいか、一緒に考えてみませんか？

日時 6月22日(日) 13:30～15:30
会場 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
講師 さとう よしこ
佐藤 良子 さん
(東京都立川市大山自治会 相談役)



参加申し込み

1. 電話 倉吉市人権政策課 0858-22-8130
2. FAX " 0858-22-8230
3. メール " danjo@city.kurayoshi.lg.jp

*お問い合わせ先：倉吉市役所市民生活部人権政策課 男女共同参画係

【啓発パネルの展示】

- 倉吉交流プラザ
5/31(土)～6/22(日)
- 未来中心アトリウム
6/24(火)～6/29(日)



にこにこサロン 隔週 木曜日 10:30～

◎今年度のテーマ:「みんなと一緒に参加しよう」

にこにこサロンは、どなたでも参加できます。
多くの方が気軽に立ち寄り、楽しい時間が過ごせる居場所として、また、高齢の方の閉じこもりや認知症予防、健康維持などを目的として開催しています。

■5月はこんなことをしました

★8日(木)

ゴキブリ団子づくりと、夏シーズンがやってくる前に草取りを行い、センター美化を図りました。ありがとうございました。

★22日(木)

昨年大雪のため中止となった無声映画「三朝小唄を語り隊」のみなさんより、金色夜叉や三朝恋歌などを披露していただき、楽しいひと時を過ごすことができました。



■6月のにこにこサロン

6月 19日(木) 10:30～

内 容: ちまきづくり

みんなで一緒に楽しく作りましょう!

参加費: 一人 200円(当日集金)

みなさん
お誘いあわせの上
ご参加ください。



参加費無料。
みんなが誘いあって参加してね。

子ども料理教室 (小学生・中学生・高校生対象)

6月 28日(土) 10:00～ はばたき人権文化センター

自分で調理する体験を通して、子どもたちが将来自立した生活を育むことや、「孤食」を防ぐことを目的とし、開催します。

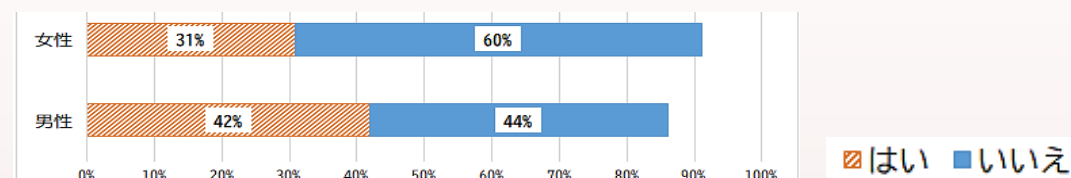


6月は男女共同参画推進月間です ～“思い込み”を捨て、誰もが輝く社会へ!～

倉吉市では、「男女共同参画のまちくらよし」を目指して、行政、市民、事業者の皆様と共に男女共同参画の取組を進めており、毎年6月を「男女共同参画推進月間」としています。

令和6年度の月間中に実施した男女共同参画についてシールを貼って回答する参加型アンケートの結果から見てきたことを前回調査(令和5年実施)と比較しながら紹介します。

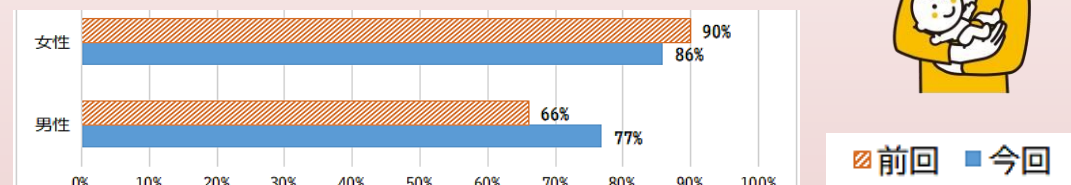
問1 育児や介護は女性の方が向いていると思いますか?



「育児や介護は女性の方が向いている」と思う男性は42%、そう思わない女性は60%と男性と女性では明らかなズレがあるようです。無意識のうちに「〇〇は女性(男性)の役割だ」と決めつけていませんか? 育児・介護など家庭での役割について思っていることを家族で話し合うと、思わぬ発見があるかもしれません。

問2 男性の「育児休業」取得をどう思いますか?

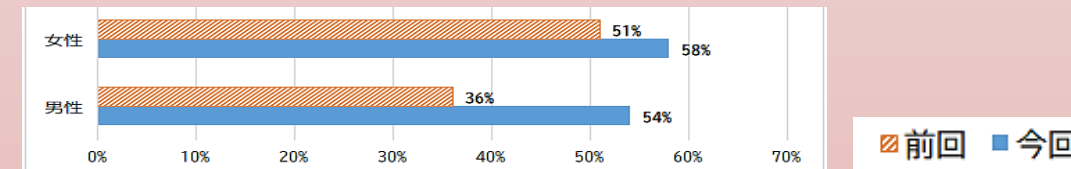
取得して欲しい(したい)と答えた人の割合



男性の育児休業について「取得したい」と考える人は、男性においては、前回と比べると11ポイント上昇しています。2023年の国調査では、男性の取得率は初めて3割台(30.1%)となりましたが、女性の取得率の84%とは大きな開きがあります。

問3 男女共同参画について、家庭・職場・地域等で話題にしたり、考えたことがありますか?

「はい」と答えた人の割合



男女共同参画について話題にしたり、考えたことのある人は、男女ともに増加しています。特に男性においては、前回調査では36%、今回は54%と18ポイント上昇しました。「男性の育児休業取得」が推進されていることもあり、家庭や職場で男女共同参画について考える機会は今後も増えていくのではないのでしょうか。

男女共同参画についての正しい認識と必要性を広めるためには、性別や年代を問わず多くの方がさまざまな機会を通じて考え、学ぶことが大切です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみましょう!

